

CPD記録簿 第1年度 (2019年12月1日～2020年11月30日)

登録番号・氏名 【 12345 地質太郎 】

登録部門数 【 2 部門】

CPD記録簿に整理したCPD単位の総計 【 140 単位】

対象となる部門を列記 ( 現場調査部門 現場技術・管理部門 土壌・地下水汚染部門 ) 【 現場技術・管理部門、土壌・地下水汚染部門 】

※印の項目は、必須入力欄です。

←この色がついているセルのみ入力してください

各シートの表は入力以外の編集を行わないでください！

登録番号・氏名、登録部門数、CPD単位の総数(集計表の総計)、対象となる部門を必ず入力してください。

終了年月日に入力した日付がCPD取得日になります。シート左上に示された、年度ごとの対象期間に収まるように入力してください。正しく収まっていれば、「期間内チェック」には何も表示されません。

土壌汚染に関連するプログラムの場合は、⑮プログラム内容の中に、必ず「土壌汚染」という言葉を入れてください。文言によって単位がカウントされます。

①番号	②主催者名※	③プログラム名※	④プログラム番号	⑤教育分野 (プログラム分類)	⑥教育形態 (プログラム形態)	⑦開始年月日※	⑧終了年月日※	⑨参加単位※	⑩単位数※	⑪CPD単位数※	⑫主催者証明※	⑬認定機関名※	⑭プログラム目標	⑮プログラム内容※	⑯CPD取得形態※ (タブから選択)	※間違えやすい区分
1	東関東地質調査業協会	巡見 関東ローム層と武蔵野台地		C 専門技術分野 (調査手法) 10 その他の専門技術分野その他 上記以外で地質技術者として 役に立つ専門技術分野 (調査 手法)	i 講習会・研修会等への参加 講習会、研修会等への参加	2019/12/11	2019/12/12	1.5 日	12	0	東関東地質調査業協会		1日半の巡見観察を 加え、ローム層の分布や特 性を詳しく観察してください。	①講習会の受講や講師、 論文の発表・査読、発注 者等外部組織からの表彰 等	表彰については、表彰状の添 付が必要	
2	社団法人 日本技術力向上会	技術力向上講習会	A0001			2019/2/19	2019/2/19	3 時間	3	0	社団法人 日本技術力向上会		【土壌汚染】土壌汚染調査の現地サンプリング技術に関する講義を受講した。	①講習会の受講や講師、 論文の発表・査読、発注 者等外部組織からの表彰 等	表彰については、表彰状の添 付が必要	
3	〇〇地質調査業協会	技術発表会		C. 専門技術分野 (調査手法) 5. ボーリング	ii. 論文等の発表 1. 口頭発表 (協議会が認める学協会等での 発表)	2019/3/1	2019/3/1	10 分	0.8	0	〇〇地質調査業協会		ボーリング技術に関する論文を作成し、協会の査読を受けた後に発表した。	②企業内における研修の 受講や表彰	表彰については、表彰状の添 付が必要	
4	〇〇地質調査業協会	地質技術者入職時教育				2019/6/1	2019/6/1	3 時間	9	-	〇〇地質調査業協会		若手技術者向けの技術講習会に講師として参加した。	①講習会の受講や講師、 論文の発表・査読、発注 者等外部組織からの表彰 等	表彰については、表彰状の添 付が必要	
5	国土交通省 〇〇整備局	局長表彰		A. 基礎共通分野 11. その他 の基礎共通分野	v. 業務経験 1. 学協会や発注 者の表彰を受けた業務等	2019/11/1	2019/11/1	1 件	20	-	国土交通省 〇〇整備局		現場管理責任者として従事した業務が局長表彰を受けた。	①講習会の受講や講師、 論文の発表・査読、発注 者等外部組織からの表彰 等	表彰については、表彰状の添 付が必要	
6	〇〇調査機 技術本部	平成21年度 社内技術発表会		C. 専門技術分野 (調査手法) 8. 現場計測・現場試験	iv. 技術指導 2. 社内研修会 等の講師	2019/11/10	2019/11/10	1 時間	1	-	勤務先		社内で計測技術に関する技術発表会を開催し、講師を担当した。	①講習会の受講や講師、 論文の発表・査読、発注 者等外部組織からの表彰 等	表彰については、表彰状の添 付が必要	
7	〇〇調査機 技術本部	平成21年度 社内技術発表会			iii 企業内研修及びOJT 企業内研修およびOJT	2019/6/15	2019/6/15	5 時間	5	-	勤務先		社内でサンプリング技術に関する技術発表会を開催し受講した。	②企業内における研修の 受講や表彰	表彰については、表彰状の添 付が必要	
8	〇〇調査機	(社内 技術者表彰 社長賞)				2019/10/7	2019/10/7				勤務先		社内を実施する優秀技術者表彰制度で、現場管理責任者として従事した業務内容 購読した書籍の詳細を明記してください。(機関誌の名称、発行頻度、購読時間など)表彰を受けた。	②企業内における研修の 受講や表彰	表彰については、表彰状の添 付が必要	
9	自己学習	学会誌「地球工学会誌」の購読			vi3 自己学習	2019/1/1	2019/12/31	12 時間	6	-	本人		地球工学会発行の「地球工学会誌」を購読した。(2017年1月号～2017年12月号) 購読1回につき1時間、年12回発行×1年分=12時間	③自己学習		
10	全国地質調査業協会連合会	技術士資格の取得			vi4 技術資格の取得	2019/10/1	2019/10/1	1 取得	5	-	全国地質調査業協会連合会		地質調査技士 現場技術管理部門 (登録番号 第666****号)	④現場経験、資格取得	現場経験は、現場管理者や一般 調査員で重み係数が異なるた め CPD区分・重み係数表を 確認	
11	日本技術士会	技術士資格の取得			vi4 技術資格の取得	2020/12/4	2020/12/4	1 取得	10	-	日本技術士会		技術士資格 (総合技術監理部門 応用理学-地質科目)を取得した。(登録番号 第666****号)	④現場経験、資格取得	現場経験は、現場管理者や一般 調査員で重み係数が異なるた め CPD区分・重み係数表を 確認	

終了年月日を基に、年度ごとに分配してください。

1日の活動時間は8時間としています。

土壌・地下水汚染分野のCPDの場合、「土壌汚染」の文言を必ず記載してください。

①～⑤の選択した項目ごとにまとめてください。また、まとめた上で終了年月日が古い順に並べてください。

終了年月日でカウントするため、終了年月日が期間内に入っていれば開始年月日が期間外でも問題ありません。

機関誌の定期購読は、例のように年間購読分をまとめて記入してもかまいません。社内  
購読した書籍の詳細を明記してください。(機関誌の名称、発行頻度、購読時間など)表彰を受けた。

取得した資格については、必ず登録番号を記入してください。

CPD記録簿 第1年度 (2019年12月1日～2020年11月30日)

登録番号・氏名 【 12345 地質太郎 】

登録部門数 【 2 部門】

CPD記録簿に整理したCPD単位の総計 【 140 単位】

対象となる部門を列記 ( 現場調査部門 現場技術・管理部門 土壌・地下水汚染部門 ) 【 現場技術・管理部門、土壌・地下水汚染部門 】

※印の項目は、必須入力欄です。

←この色がついているセルのみ入力してください

登録番号・氏名、登録部門数、CPD単位の総数(集計表の総計)、対象となる部門を必ず入力してください。

終了年月日に入力した日付がCPD取得日になります。シート左上に示された、年度ごとの対象期間に収まるように入力してください。正しく収まっていれば、「期間内チェック」には何も表示されません。

各シートの表は入力以外の編集を行わないでください!

土壌汚染に関連するプログラムの場合は、⑮プログラム内容の中に、必ず「土壌汚染」という言葉を入れてください。文言によって単位がカウントされます。

①番号	②主催者名※	③プログラム名※	④プログラム番号	⑤教育分野 (プログラム分類)	⑥教育形態 (プログラム形態)	⑦開始年月日※	⑧終了年月日※	⑨参加単位※	⑩単位数※	⑪CPD単位数※	⑫主催者証明※	⑬認定機関名※	⑭プログラム目標	⑮プログラム内容※	⑯CPD取得形態※ (タブから選択)	※間違えやすい区分
12	埼玉県〇〇事務所	地方特別道路整備工事 (地質調査業務委託)		A基礎共通分野11その他の基礎共通分野その他上記以外で地質技術者として役に立つ基礎共通分野	v業務経験4現場管理経験 (主任技術者、現場管理人、掘削機長、物理探査班長等)	2019/12/1	2019/2/1	1 件		5		勤務先		県発注の地質調査業務に <b>現場管理者</b> として従事した。	④現場経験、資格取得	現場経験は、現場管理者や一般調査員で重み係数が異なるため、CPD区分・重み係数表を確認
13	元請) 株式会社岩清水建設 国土交通省 関東地方整備局	荒川河川堤防試験工事		C. 専門技術分野 (調査手法) 8. 現場計測・現場試験	v. 業務経験 5. 現場経験 (一般調査員)	2019/5/1	2019/5/30	1 件		2		勤務先		元請企業より受注した地質調査業務の <b>現場担当者</b> に従事した。	④現場経験、資格取得	現場経験は、現場管理者や一般調査員で重み係数が異なるため、CPD区分・重み係数表を確認
14	一般社団法人全国地質調査業協会連合会 情報化委員会	GIS構築検討ほか		X一般共通課題4技術動向新技術、情報技術、品質保証、規格・仕様・基準 (ISO、IEC) 等	VIその他2公的な機関での委員就任	2019/9/20	2019/9/20	3 時間		3		一般社団法人全国地質調査業協会連合会		協会の委員会活動に参加し、電子化された地質情報の活用について検討を行った。	⑤委員会活動など	
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																

現場管理者や一般調査員で重み係数が異なるため、ご注意ください。

CPD記録簿 第1年度 (2019年12月1日～2020年11月30日)

登録番号・氏名 【 12345 地質太郎 】

登録部門数 【 2 部門】

CPD記録簿に整理したCPD単位の総計 【 140 単位】

対象となる部門を列記 ( 現場調査部門 現場技術・管理部門 土壌・地下水汚染部門 ) 【 現場技術・管理部門、土壌・地下水汚染部門 】

※印の項目は、必須入力欄です。

←この色がついているセルのみ入力してください

各シートの表は入力以外の編集を行わないでください！

登録番号・氏名、登録部門数、CPD単位の総数(集計表の総計)、対象となる部門を必ず入力してください。

終了年月日に入力した日付がCPD取得日になります。シート左上に示された、年度ごとの対象期間に収まるように入力してください。正しく収まっていれば、「期間内チェック」には何も表示されません。

土壌汚染に関連するプログラムの場合は、⑮プログラム内容の中に、必ず「土壌汚染」という言葉を入れてください。文言によって単位がカウントされます。

①番号	②主催者名※	③プログラム名※	④プログラム番号	⑤教育分野(プログラム分類)	⑥教育形態(プログラム形態)	⑦開始年月日※	⑧終了年月日※	⑨参加単位※	⑩単位数※	⑪CPD単位数※	⑫主催者証明※	⑬認定機関名※	⑭プログラム目標	⑮プログラム内容※	⑯CPD取得形態※(タブから選択)	※間違えやすい区分
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
年度合計										91.8						

※1年度当たり最大60件まで

※終了年月日を基準に区分